

令和3年度独歩記念事業
柳井市短詩型文学祭優秀作品集



令和3年6月23日
柳井市中央公民館

令和3年度 独歩記念事業柳井市短詩型文学祭結果発表資料

令和3年6月23日

柳井市中央公民館

明治の文豪・国木田独歩（1871～1908）は、37年の短い生涯の半分を山口、岩国、柳井、田布施で過ごしました。特に多感な青春時代を柳井地方で過ごした独歩は、この地方を舞台にした『置土産』『酒中日記』『富岡先生』『少年の悲哀』など柳井地方の美しい自然と人情を背景にした作品を残し、自然描写に新境地を開いた名作『武蔵野』に見られる落葉樹などへの美的視点は、県内の山々の散策で培われたものです。

独歩は明治41年6月23日神奈川県で37歳の若さで没し、柳井市ではその功績を称えるため昭和26年6月から「独歩忌」として俳句・短歌・詩の作品を募集してきましたが、平成15年度からは、これを『独歩記念事業 柳井市短詩型文学祭』として新たに取り組み、独歩に関する作品のみならず、幅広く文学的な作品を募集し、その優秀作品を称えるとともに、柳井市の短詩型文学の発展を目指しており、今回で通算69回目を迎えました。

募集については、平成28年度から独歩記念事業の基本に立ち戻り、地元の関心をより高めることを目的として、18歳以上（高校生不可）で山口県在住の方の応募といたしました。

また、今年度は俳句と短歌の2部門で実施しました。

優秀作品は下記選者の方々により別紙のとおり選考され、本日発表とともに、入賞者の方々に通知いたします。

【作品投稿状況】 令和3年度 228作品（116人）

※18歳以上（高校生不可）で山口県在住の方のみの募集

※令和元年度は150作品（75人）、令和2年度は59作品（31人）。（作品数・人数ともに詩部門を除いた数。）

【俳句部門】

選者	国重勝之・宮本仁宏・浅海紀代子		
投稿数	105句	投稿者数	53人
投稿者	柳井市内 25人（47%）	県内（柳井市除く）	28人（53%）

【短歌部門】

選者	吉崎郁子・森重笑子・宗重美喜子		
投稿数	123首	投稿者数	63人
投稿者	柳井市内 11人（17%）	県内（柳井市除く）	52人（83%）

☆令和2年度投稿数 59作品（31人） 【うち柳井市内：21作品（12人）】

【俳句部門】 31句 投稿者数 17人

【短歌部門】 28首 投稿者数 14人

問い合わせ先：柳井市教育委員会 生涯学習・スポーツ推進課

〒742-8714 山口県柳井市南町1-10-2 TEL 0820-22-2111 内線 331

FAX 0820-23-7371

令和三年度独歩記念事業柳井市短詩型文学祭優秀作品

令和三年六月二十三日
柳井市中央公民館

◎俳句部門（投稿数 百五句 投稿者数 五十三名）

一位 糊つよき白衣や今朝の花水木

向山 八千代（柳井市）

二位 ふるさとの空の青さや畑を打つ

沖原 光彦（柳井市）

三位 青梅雨や江戸の商家の遺る街

浜田 和子（柳井市）

【選者】国重勝之・宮本仁宏・浅海紀代子

◎短歌部門（投稿数 百二十三首 投稿者数 六十三名）

一位 剪定の大いなる枝ゆっさゆさすだま魍魅もろとも車へ運ぶ

森田 アヤ子（岩国市）

二位 音もなく枯れ葉舞い散る藪に来て雨後の竹の子背負いて帰る

松原 八重子（柳井市）

三位 じゃがいもの花咲き出して農作業一年生のゴールも真近

稲田 和子（山口市）

【選者】吉崎郁子・森重笑子・宗重美喜子